

学長コロキウム

第1回

主催：中部大学

共催：創発学術院

WPIプログラムのねらいと 我が国の基礎研究の課題

日程

7月26日 (水)

時間

15時00分～17時00分

場所

創発学術院 (16号館10階)

講師

長田 義仁

中部大学 顧問

理化学研究所 客員主管研究員



参加
自由

我が国の研究水準の低下が叫ばれて久しい。6月17日付日経紙はトップ10%の論文数シェア(2012～2014年平均)は5%でスペインやオーストラリアに後れを取って世界第10位と報じた。研究費の減少が原因と言われているが、欧米では違った見方をしている。文化の閉鎖性にあるという。

我が国の研究活動の凋落を防ぐ期待も担って、世界トップ研究拠点形成(WPI)プログラムは2007年に5拠点をスタートした。各拠点に毎年14億円の予算配分、10年継続というかつてない大型予算が組まれたこのプログラムは本年3月をもって第1期が終了した。果たしてどのような成果が得られたのか、見えてきた課題はあったのか？本報告ではWPIプログラムのねらいと内容を紹介しつつ、我が国のおかれた基礎研究の課題などについても議論したい。

お問い合わせ先：創発学術院

MAIL : sohatu@office.chubu.ac.jp

TEL : 0568-51-9520 (内線8825)

